

>studiologic®
numacompact 2x



オペレーションマニュアル **J**

重要安全事項



高電圧注意！

感電の恐れがあるため、分解は絶対におやめください。本体内部にスペア部品などは一切付属していません。修理は当社の販売店またはディリгент・テクニカルサポートまでお申し付けください。



電源について

感電のリスクを避けるために、本機を雨や湿気の多い場所には設置しないでください。また、液体を含むものを本体の上に置くこともおやめください。プールやバスタブ、湿気の多い地下室などでのご使用もおやめください。

また、付属の電源アダプタ以外でのご使用をおやめください。



湿気について

感電の恐れがあるため、分解は絶対におやめください。本体内部にスペア部品などは一切付属していません。修理は当社の販売店またはディリгент・テクニカルサポートまでお申し付けください。

本機を低温の場所から高温の場所へ移動した場合、本体内部に凝結が発生する場合があります。

この場合、本体が部屋の気温に十分馴染んでから電源を投入してください。



設置について

サイズ、重量を考慮し、安定性の高いキーボード・スタンドやラックをご使用ください。

お掃除／メンテナンスについて

強力な洗剤は絶対に使用しないでください。表面にしみがつく原因となります。軽く水をしみこませたマイクロ繊維の布でのお掃除をお奨めいたします。



付属品はマニュアルに従ってご使用ください。指定された以外のことで、本機に不具合が発生した場合、保証を受けられなくなりますのでご注意ください。



本機の性能を知っていただき使いこなしていただくために、本マニュアルの熟読をお奨めいたします。

製品概要

Numa Compact 2x をご購入いただき、誠にありがとうございます。

本製品は、Compact シリーズの集大成とも言える最新モデルです。今まで同様、クラス最軽量 7.1kg のコンパクトな 88 鍵盤ボディに、従来の高品位サウンドエンジンである「大容量 1GB サンプルメモリ（ピアノ、エレクトリックピアノをはじめ 88 音色）」に加え、9 本のドローバーを新装備し、「Numa Organ 譲りのトーンホイール・オルガン・モデリング」「Sledge のサウンドシンセシス」の計 3 つのサウンドエンジンを搭載。

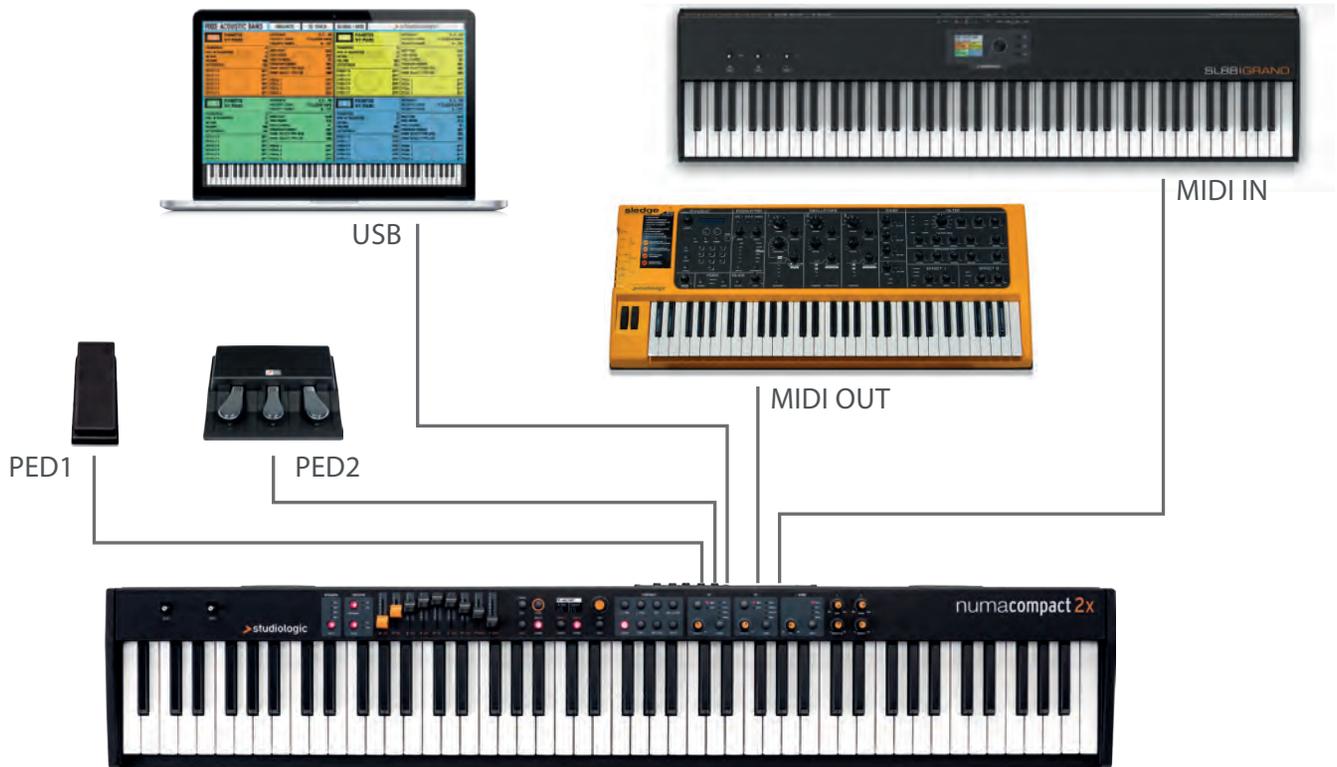
高品位でクリアなサウンドを、内蔵スピーカーやヘッドホンでの演奏はもちろん、USB 端子経由で、コンピューターやタブレットにデジタル音声として出力することも可能です。軽量 / コンパクトのコンセプトはそのまま、自室での練習、部活やストリートでのプレイにも最適です。

本製品をより安全かつ機能をフル活用するために、本マニュアルをよくお読みになることをおすすめします。

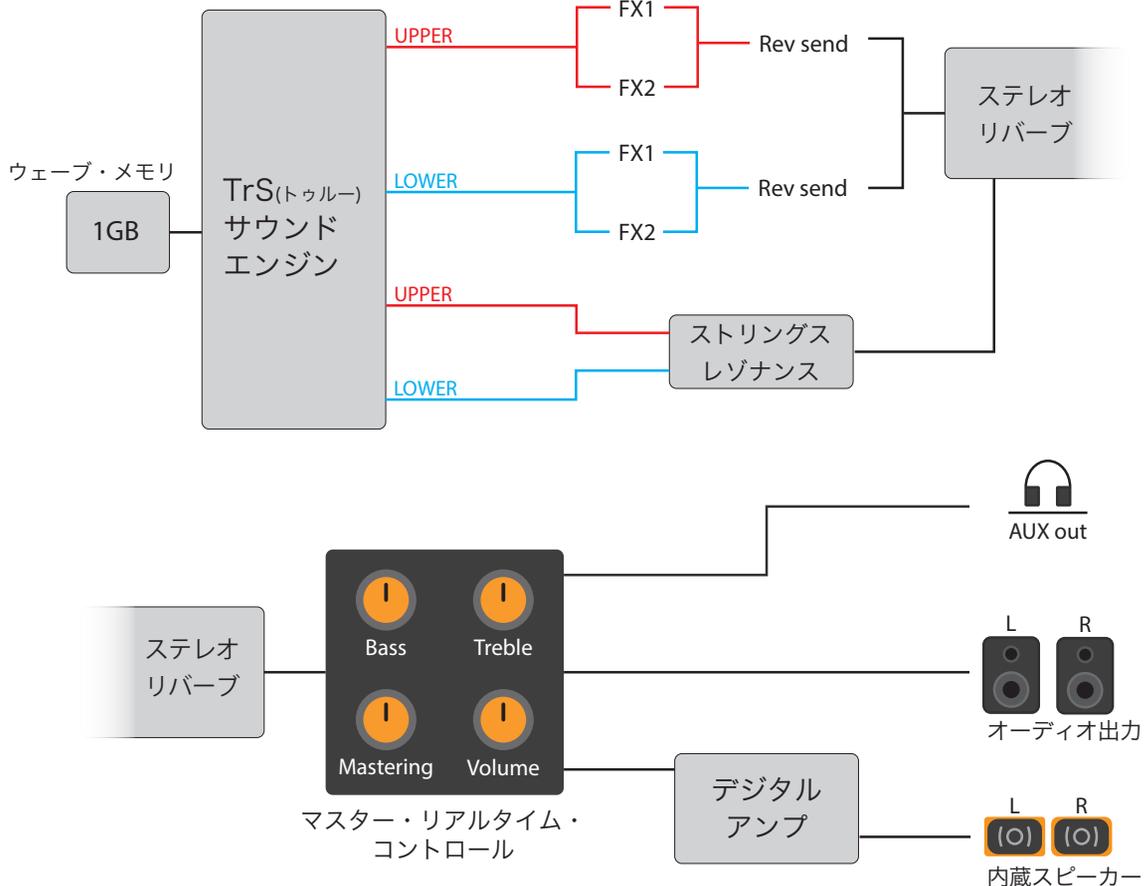
主な特徴

- 鍵盤：88 鍵 TP/9 Piano semi weighted
- アフタータッチ
- スティック 1：ピッチベンド・コントロール
- スティック 2：モジュレーション・ホイール + FX コントロール
- 10 +10W デジタルアンプ内蔵
- OLED ディスプレイ：解像度 128 x 64
- ダイレクト・コントロール・ユーザーインターフェイス
- Lower / Upper / Zone A / Zone B
- 4 つのプログラマブル・セクション（サウンド と MIDI）
- 9 本のドローバーを搭載したトーンホイール・オルガン・モード
- 9 本のスライダーでリアルタイムにパラメーターを変更可能なシンセ・セクション
- 1GB のサンプル・メモリー
- スtrings・レゾナンス：全てのピアノ音色にてコントロール可能
- Lower 2FX +Upper 2FX + リバース + スtrings・レゾナンス
- グローバル・エディット：8 パラメーター
- マスター・コントロール：Bass、Treble、Mastering（3D + Compressor）
- MIDI チャンネル、ボリューム、スプリットの割当て
- 接続：USB、MIDI In/Out、ステレオ出力 (RCA)、ヘッドフォン出力、ペダル 1-2 入力
- USB 端子経由で音声信号のやり取りが可能な Audio Over USB 機能
- USB バスパワー対応（MIDI コントロールのみ）

接続例



オペレーション・ダイアログ



J

Numa Compact 2xの概要と機能について：

ライトウェイト・アクション

Numa Compact 2x は、Fatar による最新の革新的技術を採用しています。セミウェイトド TP/9 Piano アフタータッチ付ボックス型キーボード。重量はわずか 7.1 kg なので、可搬性に優れている上に Fatar 鍵盤の優れたタッチを提供しています。

**8 サウンドバンク
88内蔵音色**

精密にサンプリングされた 88 個のハイクオリティ・サウンドをすぐに演奏することができます。経験豊富なキーボード・プレーヤーやミュージシャンがこれらのサウンドを選択し Numa Compact 2 の操作感を容易にするための設計に関わってきました。したがって、Numa Compact 2x は、ステージ、スタジオ、または自宅での完璧なパートナーとなります。最大同時発音数の 128 ボイスを使用し、深みと表現力を加えます。スプリット・モードやレイヤー・モードのロウワー・セクション、アッパー・セクションに 2 つのサウンドをアサインすることができます。

**FX1 - FX2- リバーブ
ストリングス・レゾナンス**

2 つのダブル FX プロセッサは、すべてのピアノサウンドのストリングスレゾナンス・エフェクトとあらゆる種類を無限に組み合わせられるステレオリバーブに加え、Lower、Upper・セクションの両方に 2 種類の異なるエフェクトを割り当てることが可能です。

**ミキサー&マスタリング
内蔵アンプ**

ボリューム、ベース、トレブル、マスタリングの各コントロールを使用してお好みのサウンドを得ることができ、楕円型のスピーカーを搭載したモニターアンプ・システムは、10 +10W アンプ・システム、デジタル・コントロールされたイコライザーを使用することができます。最良の結果を得るために歪みを回避し、適切な周波数レスポンスを得るためにすべてのポットを半分の位置に設定してください。選択した音色に合わせて設定を変更することができます。

マスターキーボード機能

2 つのプログラム可能なゾーンを持つ Numa Compact 2x のマスターキーボード機能を使用すると、外部 MIDI デバイスをコントロールすることができ、音色の変更、レベル調整などを MIDI Out を通じて Numa Compact 2x から行うことができます。

オーディオの接続

ステレオのオーディオ出力と内蔵アンプシステムと同様に Numa Compact 2x にはヘッドフォンプラグも装備しているので、夜間のジャムセッションや練習に最適です。この接続はオグジュアリー・オーディオ出力としても使用可能です。

コンピュータとの相互接続

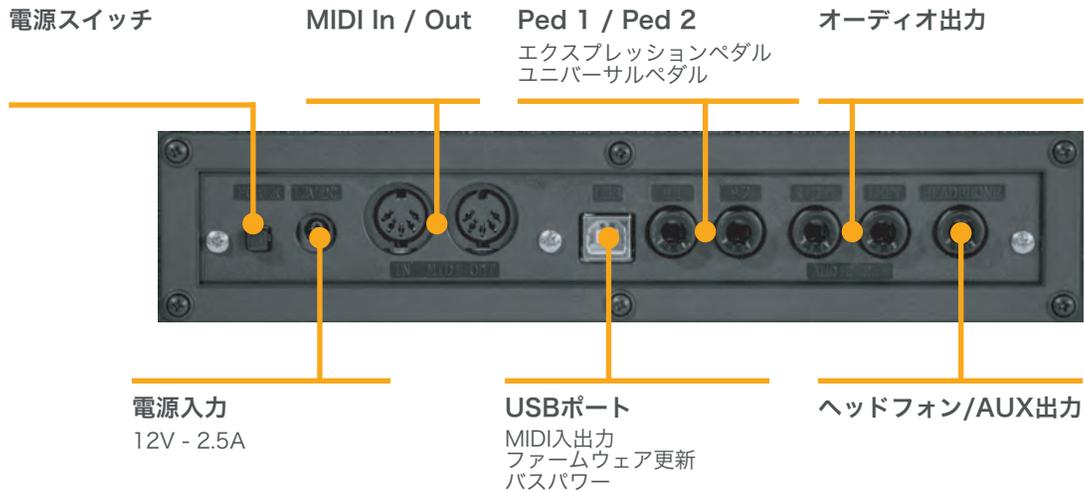
USB ケーブルを用いて、Numa Compact 2x をコンピュータに接続し、電源アダプタ（付属）を必要とせずに直接電源を供給することができます。MIDI データの送信には、USB と MIDI 出力を使用可能です。さらにファームウェアやサウンドライブラリーのアップデートは USB 経由でアクセス可能です。過度の電力消費、または電力低下を避けるために USB で電源を供給すると内蔵アンプシステムは自動的にオフになります。

※単体の楽器として利用する場合は電源アダプタを使用してください。

パッケージに含まれるもの

- ・ Numa Compact 2x 本体
- ・ 電源アダプタ / AC ケーブル
- ・ USB ケーブル
- ・ CD マニュアル（英文）
- ・ 冊子マニュアル（本紙）
- ・ 製品保証書

電源入力と接続端子



電源入力

付属の電源アダプタを電源入力に接続し、電源スイッチを押して本機の電源を入れ、メインのボリューム、ベース、トレブル・コントロールを半分の位置に設定し、マスタリング・コントロールを最小の位置に設定してください（各機能については後述します）。過度な出力を避け、内蔵スピーカーが適正なダイナミクスで動作するようにしてください。

USBバスパワー



本機は、USB ケーブルによって電源を供給させることも可能です。コンピュータに十分な電力を供給することができる場合に限り、多くのデバイスが USB ポートに接続されていない場合に限りです。本機に USB から電源を供給している場合、消費電力がコンピュータから供給できる範囲を超えると、内蔵アンプシステムが自動的にオフになります。注意：接続が不安定な場合、電源アダプタをご使用ください（前の項目を参照してください）。

エクスプレッション / ユニバーサル・ペダル

オプションのペダルを Ped1、または Ped2 と記された端子に接続してください。Ped1 とラベルの付いた端子には、通常ボリューム・エクスプレッションコントロールを行うために Studiologic VP ペダルを接続してください。Ped2 端子には、スイッチペダル、ボリュームエクスプレッションペダル、またはトリプルペダル SLP3-D のいずれかを接続することができます。

オーディオ出力

外部のアンプシステムを使用する場合、または本機のサウンドをレコーディングする場合には、適切なオーディオ・ケーブルを使用して左右のオーディオ出力をミキサー、アンプ、オーディオ・インターフェイス等の入力に接続してください。

ヘッドフォン / AUX出力

ヘッドフォン /AUX 出力は、GLOBAL エディット機能（本マニュアル内で後述）の設定に従ってヘッドフォン、またはオーディオの予備出力として使用することが可能です。予備オーディオ出力としてこの端子を使用し、本機をサブウーファーやその他のアンプシステムに接続し、L/R 出力を録音やその他のオーディオ接続に使用することが可能です。

ボリューム

初めて本機を使用する場合、アウトプット・セクションのボリュームを全体の半分以下の位置に設定してください。演奏中は、選択した音色に合わせてボリュームを調整可能です。ボリュームノブを調節すると、同時にすべてのオーディオとヘッドフォンの出力に影響を与えます。



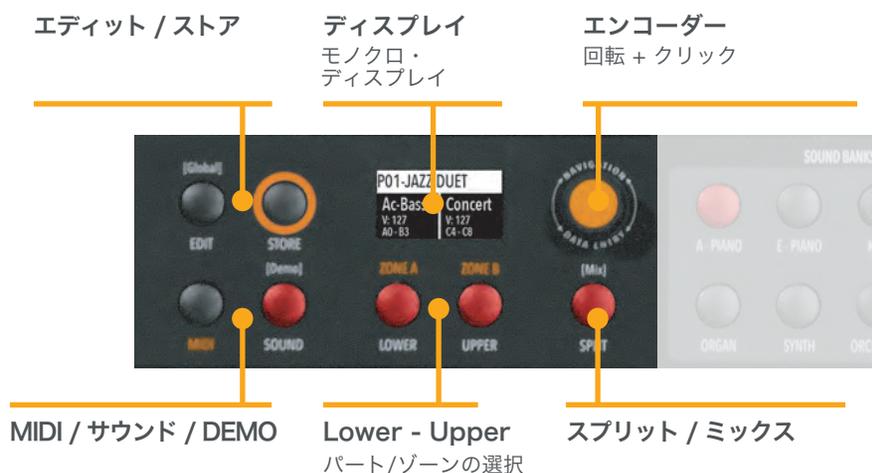
注意！

聴覚への悪影響を防ぐため、多くのオーディオ機器と同じように本機を長時間にわたって大音量で使用しないでください。

USBクラスコンプライアント

USB 経由でデータを送信するには、USB ケーブルで本機とコンピュータを接続してください。コンピュータと接続後に初めて本機の電源を投入にした際に、自動的にコンピュータが認識し、適切なドライバーが OS によってインストールされます。

パネル - ディスプレイとナビゲーション



メインとなるホーム画面は、電源投入時に表示されるもので、3つのエリアに分かれています。上部は、現在のプログラム番号と音色名が表示されていて、下側の左右部分にはサウンドモードのロウワー / アッパー・サウンドセクション、MIDIモードにはゾーンA、Bセクションが表示されます。

フォーカス（ディスプレイ内のカーソル位置）を移動するには、3つのコントロールを使用します。以下を参照ください。

- エンコーダーをクリック：3つのポジション（プログラム、ロウワー、アッパー）を移動します。
- SOUND または MIDI を押すと、フォーカスがトップに移動します。
- Lower または Upper を押すと、フォーカスが関連したエリアに設定されます。



フォーカスがプログラム・エリアにある場合、エンコーダーを回して様々なプログラムを選択することが可能です。フォーカスがロウワー / アッパー・エリアにある場合、エンコーダーを回すと関連するボリュームをコントロールすることができます。

サウンド / MIDI

SOUND と MIDI の2つのボタンは、2つが関連しているビューとコントロールを切り替えることができます。サウンド・ボタンを選択して点灯させると、サウンド・セクションと選択、関連したすべてのディスプレイ、セッティング、エディット・ページやパラメーターをコントロールすることができます。MIDI ボタンを選択して点灯させると、ディスプレイは、MIDI ゾーンのAとBのステータスを表示し、使用可能なすべてのパラメーターにアクセスして機能や値を編集することができます。

デモ サウンド・ボタンを長押しすると、各サウンドバンク毎に 1 曲ずつ、合計 8 曲のデモソングを順番に再生します。サウンドバンクをクリックすると、関連したデモを選択することが可能です。

スプリット スプリット機能のリアルタイム・コントロールで、グローバルエディット機能（スプリットポイント）とパートエディット機能（スプリットアサイン）によって、すべての詳細な編集とコントロールが可能です。これは、瞬時にスプリットの有効 / 無効を切替え、スプリットをしなくても、レイヤーモードでキーボード全体のアップパー / ロウワー・パートを演奏するための素早い方法です。

スプリットボタンは、ミキサーページを数秒間押し続けることでショートカットとして選択可能です。

ユーザー・プログラムの保存

本機はプログラムと呼ばれる 99 個のユーザープログラマブル・メモリがあり、MIDI ゾーンに関するすべてのサウンド、FX1/2 コントロール、値、機能、スプリットポイント等すべての編集可能なパラメーターをプログラム毎に保存が可能です。

保存ができない機能は、特定のプログラムに関係なく純粋なリアルタイム・コントロールである、ボリューム、ベース、トレブル、及びマスタリングです。

すべてのプログラムは、本書内の関連するセクション“グローバルエディット”で説明しているように、USB 経由で送受信が可能です。

サウンドバンクとサウンドセレクション



サウンド・モード

サウンドモード内の 8 つのボタンを押して点灯させると、そのバンク名に従って編成された音色を選択することが可能です。各バンクには、様々なバリエーションのサウンドを持っており、それぞれ4つのサウンドページから成り立っています。バンクを選択すると、そのバンクのサウンド、現在のサウンドバンク、そしてバンクのサウンドの全ページ（ディスプレイの右上に表示）と選択したサウンドが反転表示されます。

バンク別のサウンドを選択するには、エンコーダーを回します。使用可能なすべてのサウンドがバンクの最初のページから最後のページに向かって順番に表示されます。選択はテンポラリーウィンドウ（5 秒間）が表示されている間に行うことができ、最後に選択したサウンドは自動的に各バンクごとに記憶されます。この機能により、各バンクの好きなサウンドを自動的に呼び出すことが可能になります。



サウンドの一覧

プリセットしているサウンドは以下の通りです。仕様は予告なく変更されることがあり、サウンドの一覧は、異なるファームウェア・バージョン、または将来のファームウェア・バージョンで若干変更、または更新される可能性があることをご了承ください。

A. Piano	Organ	Orchestra
Concert	JazzOrg1	Strings1
Stage	JazzOrg2	Strings2
Vintage	DrawbVib	Horns
Studio	AllDrawb	Brass
Rock	888-Pure	Baroque
Upright	888-Scan	BigBand
E-Grand1	MildSet	BrassFall
E-Grand2	PopSet	SaxBand
	AllEven	TenorSax
E. Piano	VintSet	JazzFlute
EP-Mark1	FullSwell	Trumpet
Wurlix	FullGreat	Oboe
E-Pno1	VintOrg1	
E-Pno2	VintOrg2	Other
DxFm1	PipeOrg1	Cassotto
DxFm2	PipeOrg2	Accordion
DxFm3		Musette
DxFm4	Synthesizer	Harmonica
	SynthPad	ChoirAh
Keys	SynthHouse	Choir Oh
Clavi	SweetSaw	ChoirUh
Harpsi	WowPad	ChoirSint
Vibes	Soloist	Bouzouki
Marimba	Funky	Kanoun
FunKlav	SynBass1	Oud
Cembalo	SynBass2	Cawala
ReedOrg	JumpSaw	Mizmar
GloKeys	SynBrass	Nai
	SquareMix	StndKit
Bass / Guitar	Cluster	WorldKit
Ac-Bass	BigDance	
El-Bass	Monster	
Slap	FmVibe	
Plicked	SledgeMix	
Ny-Guitar	Sawtooth	
El-Guitar	Square	
Ac-Guitar	Triangle	
Jz-Guitar	Pulse	
2 Guitars		
12 Strings		
BassRide1		
BassRide2		



はじめに

オリジナルのトーンホイール・オルガンでは、ローブ付きの 91 のスチールホイールが、永久磁石とスプールからなるピックアップの前で回転します。トーンホイールの形状のため、ピックアップ内の磁場は周期的に変化し、正弦波を生成します。

8 種類の異なるトーンホイール形状と 12 の異なる歯車列によって、91 の正弦周波数が生成されます。加算合成の場合と同様に、91 の周波数は異なる音色を作り出すための基礎となります。複雑な回路をレイアウトすることで、9つのドローバーでサウンドをミックスし、トーンホイール・オルガンはわずか 91 の発生サイン周波数から数百の音色を作成できます。理論的には 3 億 8000 万通り以上の音色作成が可能です。サウンドを生成するために、Numa Compact 2x はトーンホイール・オルガンを数学的に再現する物理モデリングを使用しています。

Numa Compact 2x ではモデリング技術により、ドローバーと関連するすべてのエフェクト（ビブラート、コーラス、ハーモニクスとディレイ・コントロール付きパーカッション）の組み合わせを構築して、さまざまなサウンドを提供できるよう設計されています。また、「グローバルエディット」ページでは、キークリックやパーカッションのような機能のボリュームコントロールを行えます。

オルガンモデリングによって生成されたサウンドは、他の全サウンドバンクと同様、音の質を高めるために用意された、典型的なロータリー、ドライブ、コーラス、ディレイなどのエフェクトチェーンに送信することができます。

Numa Compact 2x オルガン・サウンドバンクには、ドローバーコントロール付きトーンホイール・オルガンの新しいクローンに加え、丁寧にサンプリングされた電子オルガン、ならびに古典的なパイプオルガンの音色も収録しており、あらゆる種類の完全なオルガンサウンドを網羅しています。オルガンのサウンドとそれに関連するすべてのエフェクトとポストプロセッシングの設定は、99 種類のプログラムのそれぞれに保存することができます。

ドローパー

ドローパーは、トーンホイールオルガンの最も特徴的なコントロールとすることができます。トーンホイールオルガン音は 9 つのサイン周波数で作られ、各ドローパーは“ネイティブピッチ”とも呼ばれるパイプオルガンの 8' ストップ（ドローパー 3）に関連するスケールの倍音を表します。

ドローパー 1、2、3、4、5、6、7、8、9 は、フィート 16'、5 1/3'、8'、4'、2 2/3'、2'、1 3/5'、1 1/3'、1' に対応しています。

ドローパーのフィートでのラベル付けは、パイプ、またはパイプガンから派生しています。ここでは、ノート C を演奏する参照パイプの長さは、8 フィート (= 2.4m) となります。

注:最初の 2 つのスライダーは、異なる色で作られています。これは、ビンテージ・トーンホイールのオルガンでも、最初の 2 つのドローパーが茶色であることを踏襲したもので、ピアノの標準の 8 フィート以下の音程であることを示しています。偶数倍音は白で、奇数倍音は黒でした。Numa Compact 2x では、主にシンセパラメーターのコントロールとして、すべてのサウンドで有効であることが示されていますが、他のスライダーはシンセバンクの音色にのみ有効です。

ドローパーが完全に押し込まれると、その倍音は音色から影響を与えません。反対に、ドローパーを一番下に引っ張るとの最大ボリュームとなり、画面上に数字の 8 が表示されます。また、ドローパー/スライダーを移動すると、その都度ポップアップ表示されます。ドローパーは音程を調整することができ、鍵盤を演奏しながら音色を変更することができます。

Numa Compact 2x では、アッパーおよびロウワーセクションにおいて同時に 2 つの異なる音色を演奏することができます。Layer または Split モードにおいても、Focus の位置（Upper または Lower ボタンの選択）に従って、他のすべてのサウンドと関連するドローパーの設定が同様にディスプレイに表示されます。

典型的なドローパー設定

ドローパーの設定は、何十年にも渡ってライブや録音されたオルガン音楽の中でオルガン奏者が使用し有名になった設定があります。ここでは最も人気のあるジャズ、ポップ、ゴスペル、ロックの設定を紹介します。

パーカッションの使用やコーラスやビブラートのエフェクトを好みで追加してもよいでしょう。また、Numa Compact 2x ファクトリープログラムでは、他のサンプルを見つけることができます。

あらゆる種類の音楽の設定を提案する書籍がたくさんありますが、ドローパーの主な特長は、自由に好きな音を得ることができることであり、また設定から別の設定にゆっくりと滑らかなドローパーの動きと共に“モーフィング”することができることです。これこそがオルガンの美しさの一つと言えるでしょう。

VINTAGE 1
88 8886 666

VINTAGE 2
88 6000 040

POP
88 8788 678

JAZZ SHUFFLE
80 0008 888

THE BOSS
88 8000 000

REGGAE
80 8000 008

SWEET 1
86 8868 068

SWEET 2
88 8666 888

BALLAD
00 8400 000

SILK
80 8000 008

FAT
88 8000 888

オリジナルドローバー設定

主にコンソールバージョン（2 段の 61 鍵キーボード）のビンテージトーンホイールオルガンでは、左の最後のオクターブが逆の配色で作られていました。これらの鍵盤はファクトリープリセットの選択をするために使用されました。それらに加えて、（パイプオルガンではスウェルとグレートにあたる）各キーボードで使用できる 2 つのライブドローバーグループを選択できます。

当時、パイプオルガンビルダー協会は、法的措置を通じて、電気機械の楽器（およびその他の電子楽器）をオルガンと呼ぶこと、また宗教サービスのために教会で使用することを阻止しようとしていました。このために、電気機械楽器の製造業者が試みたことの 1 つは、パイプオルガンの音をシミュレートし、クラシックなオルガンの典型的なコンビネーション名を有するファクトリープリセットを命名することでした。

そして、アメリカの法律や音楽関係者のもとで行われた公式なテストに挑戦し、見事勝利し、オルガンと呼ぶことが許されたのです。

ドローバーレベルのファクトリーセッティングは、主にいくつかの典型的なパイプオルガンの音を模倣するように意図されていました。それらはハードウェア有線設定であり、専門の技術者によってのみ変更できます。

以下は、何百万という可能な組み合わせの中のいくつかの例です。

フレンチホルン 00 8740 000	トランペット 00 6888 654	オーボエホルン 00 4675 300
ティピアス 00 8408 004	フルシアターブラス 76 8878 667	スウェルディアパソン 00 5644 320
クラリネット 00 8080 840	ストップト・フルート 00 5320 000	トランペット 00 6876 540
ノベルソロ 08 8800 880	ドゥルシアーナ 00 4432 000	フル・スウェル 32 7645 222
シアターソロ 60 8088 000	フレンチホルン 00 8740 000	
オーボエホルン 00 4685 300	サリシオナル 00 4544 222	
フル・ティピアス 60 8807 006	フルート 00 5403 000	

コーラスとビブラート

オリジナルのビンテージ・トーンホイール楽器（すべてのモデルではない）には、非常に良くシミュレートされた周波数と位相変調をサウンドに加えるために、スキャナービブラートと呼ばれる、特殊で非常に複雑なサーキットがありました。この特殊なポストプロセッシングは、Numa Compact 2x オルガンモデルの一部でもあり、2種類のビブラートまたは2種類のコーラスエフェクト設定から1つまたは両方のパートに割り当てることができる専用のボタンを備えています。これを行うには、フォーカスの位置を Upper / Lower を押して選択し、エフェクトをすべての詳細と2つの部分について個別にコントロールします。

パーカッション

演奏にリズムの要素を追加するには、ビンテージ電気オルガンのもう一つの非常に典型的で、重要な機能であるパーカッションをオンにすることです。当然この機能は、Numa Compact 2x オルガンモデルでも再現されています。このエフェクトは、すべてのキーが以前にリリースされたときにのみ再トリガーし、“レガート”または“スタッカート”を指定してエフェクトをコントロールすることができます。レガートで演奏すると、パーカッションは演奏された最初のノートでのみ機能し、減衰とともに消えていきます。これにより、レガートのコードやスケールによる、アグレッシブなソロパートを演奏することができます。

On/Off ボタンを押してパーカッションを有効にします。また、2nd/3rd ボタンを選択して、パーカッションが第2倍音（4' ドローバーに相当）または、第3倍音（2-2/3' ドローバーに相当）によって生成されるかを決定します。スロー/ファストコントロールではパーカッションのディケイを選択し、関連するボリュームはグローバルエディットの関連ページで個別にコントロールすることができます。

別のパート、またはこのマニュアルで説明されているように、オリジナルのトーンホイール・オルガンは、パーカッションボリュームの直接パネルコントロールを持っていましたが、ソフトまたはノーマルの2つの設定しかできませんでした。Numa Compact 2x のグローバルパラメーターでは、パーカッションレベルを64の値で連続的にコントロールし、独立してファストおよびスローディケイに関連付けます。



Numa Compact 2x シンセサウンドバンクは、以下の機能を備えたシンプルなシンセシスエンジンを基盤としています。

波形

シンセバンクのサウンドの 1 つを選択することによって、さまざまな波形が作られます。サウンドが選択されると、標準的なノコギリ波や矩形波、モジュレーション付きのパルス波 (LFO で変調されたパルス波形)、FM または複雑なシンセ波形などの、さまざまな波形がディスプレイに表示されます。

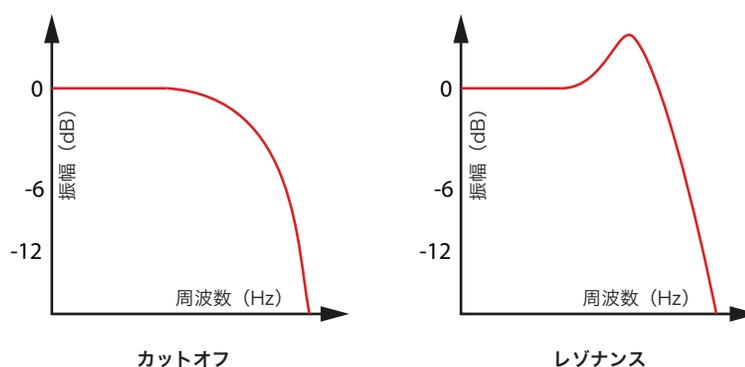
シンセサウンド (ベーシックまたはコンプレックス) は、9 つの 슬라이ダーでコントロールされます。それぞれが特定のパラメーターをコントロールすることによって、選択されたシンセサウンドを微妙に、または完全に変更することができます。

カットオフ

2 極ローパスフィルターの周波数を低い方の値に設定すると、サウンドに暖かいスペクトルを与えます。より高いレベルにした場合は、フィルターは、選択した開始音の波形のすべての周波数を通過させ、サウンドがより鮮やかになります。

レゾナンス

設定を中間から高い値にすると、フィルターはカットオフ値付近の周波数を強調し始めます。この機能を使用して、アナログスタイルのエフェクトを作成したり、サウンドスペクトルの一部をレゾナンスの正確な設定で強調したりすることができます。



J

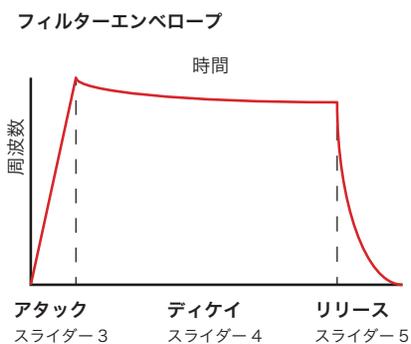
注意：

最大に近い値に設定すると、レゾナンスは信号レベルのゲインを生成し、その結果、音に歪みを生じるの可能性があります。高いレベルのレゾナンスでは、クリッピングや不要な副作用を避けるために、ボリュームを比例して下げる必要があります。

注意：

カットオフとレゾナンスの両方のパラメーターを有効にして、(シンセサウンドだけでなく)他の楽器のサウンドもコントロールして、開始音を編集できるようにします。例えば、ストリングスサウンドをメロウにしたり、カットオフ周波数と一定のレベルのレゾナンスで強調されたエレクトリックピアノサウンドにしてみたり、といった具合です。前述のように、カットオフ + レゾナンスの設定によっては、不要な副作用の切り抜きを避けるために、パートのボリュームバランスを再度整える必要があります。

フィルターとアンプリチュード エンベロープ



典型的なシンセサイザーセクションは、ADSR (アタック、ディケイ、サスティン、リリース) という名前のパラメーターで構成され、通常はフィルターセクションとアンプリチュードセクション、それぞれに準備されています。

Numa Compact 2x で利用できる単純化されたパラメーターは、これらのコントロールのサブセットであり、シンセエンジンの音色生成でより効果的なものから厳選されています。

アタックスライダーは、フィルターが希望のカットオフ開始周波数に到達するまでの時間をコントロールします。

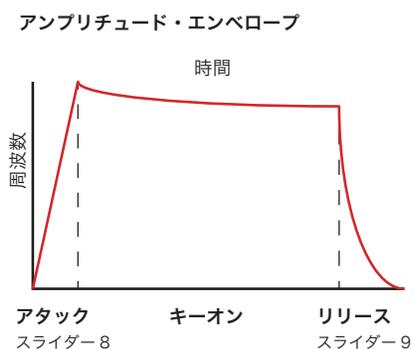
ディケイスライダーは、鍵盤が押されたままになった場合に、フィルターが最終的なカットオフ周波数に到達するまでの時間をコントロールします。

注：簡略化された設定として、ディケイはサスティンレベル (9つのスライダーにリストされていないパラメーター) にも影響し、長いディケイ時間を設定した場合、開始周波数とほぼ同じ最終カットオフ周波数をシミュレートします。ノートを演奏している間、アタックの後、サウンドの変化がないか、または非常にゆっくりと変化します。

リリーススライダーは、鍵盤が離されたときにフィルターが最後のカットオフに達するのに必要な時間をコントロールします。

LFO レートとスピードは、カットオフ周波数に内部的に割り当てられている LFO に関連したパラメーターをコントロールします。一例として、レゾナンスが中～高レベルに設定されている場合に、値を一定の方法で設定すると、一種のループするワウエフェクトを伴う音色が作成される可能性があります。

注：この LFO の接続先はフィルターで、モジュレーション (ビブラートなど) は Stick 2 とアフタータッチのどちらかでコントロールされ、すべての設定の可能な組み合わせをすべて選択できます。



最後の 2 つのスライダーはアンプのアタックとディケイをコントロールします。フィルターには独立した A/D/R コントロールがあるため、これには影響することはありません。フィルターの設定を変更することなく、遅いアタックや長いリリース時間を設定することができます。

A/R アンプコントロールは、音色生成の最後のブロックであることに注意してください。例えば、フィルターに長いリリースを設定する場合は、アンプで長いリリースを設定し、鍵盤が再リリースされたときにフィルターのリリース効果を聴くことができるようにする必要があります。

保存

シンセサウンドから始めて 9 つのスライダーで可能なすべてのバリエーションを作成したサウンドを作成したら、他のサウンドと同様にプログラムに結果を保存することができます。シンセサウンドを選択すると、選択したフォーカス（ロウワーまたはアッパーパート）に応じて、スライダー設定の小さな画像が表示され、各スライダーの値の位置を表示し、さらに変更した結果を現在のプログラムまたは別のプログラムに保存することができます。

エフェクト



FX1 / FX2

2基のダブル・エフェクトプロセッサは、2台の別々のエフェクトをロウワーセクションとアップパーセクションにアサインすることができます。例を挙げると、FX1はアップパーセクションでドライブ、ロウワーセクションではコーラスに設定することができます。アップパー / ロウワー・ボタンを使用して関連するパートを切り替えることができ、そのパートのエフェクトを表示、選択することができます。さらに、ディスプレイの下にある2つのロウワー / アップパー・ボタンを使用して関連するFXを表示、変更することが可能です。

サウンドとFXの構造と信号の流れを次のように視覚化することができます。

アップパー ▶ FX1 (4種類から1つ) ▶ FX2 (4種類から1つ) ▶ リバーブ (エディットでセンドをプログラム可能)

ロウワー ▶ FX1 (4種類から1つ) ▶ FX2 (4種類から1つ) ▶ リバーブ (エディットでセンドをプログラム可能)

Amount (量) : 2つのノブは、ドライ / ウェットの比率 (コーラスのようなモジュレーション・エフェクトの場合) やドライブ・エフェクトのディストーション・レベルなど、選択したエフェクト量をコントロールします。

FX オートセット

FX オートセット機能（リアルタイムエディット・セクションで説明したリアルタイム機能）は、専用のプログラムを保存することなく各サウンドの最後に保存した FX1 と 2 を自動的に記憶します。

このリアルタイム機能は、Stick 2 と Sound、または FX コントロール（モジュレーションやエフェクトのスピードなど）を自動的に関連付けることも可能です。あるセクションで特定の FX が選択されると Stick 2 はロータリーのスロー / ファースト・スピードやフェイザーのスピード、フィードバックなどのパラメーターをコントロールします。

またフォーカス位置によって自動的にコントロールが設定されます。FX を使用せずに、ロウワーにフォーカスされているロウワーパートである場合、Stick 2 はモジュレーションをコントロールします。またフォーカスがアッパーにありロータリーを使用したオルガンサウンドである場合、Stick 2 は、ロータリーのスロー / ファースト・コントロールを行いません。

FX オートセット機能がオフ（次ページのグローバルエディットを参照）に設定されている場合、Stick 2 の機能はパートエディットの下にあり、オートアサインではなく各プログラムにすべての設定を保存することができます。

FX オートセットをオフにすると各サウンドに最後に選択した FX を自動にアサインする機能は無効になり、FX の選択は、マニュアル、または 99 プログラムのそれぞれに保存された FX セットアップによってのみコントロールすることができます。

ストリングス・レゾナンス (ダンパー・モデル)

本機には強力な FX1-2 ダブル・エフェクトプロセッサーに加え、アコースティックピアノ・サウンドバンク専用の STRINGS RESONANCE（ストリングス・レゾナンス）ポストプロセッシング・エフェクトが内蔵されており、グローバルエディットの関連したパラメーターでコントロールすることができます。

Numa STAGE や CONCERT などの Studiologic インストゥルメントで培われた経験によって作成されたこのエフェクトは、アコースティック楽器の実際の弦とサウンドボードの共鳴（レゾナンス）を再現し、ピアノサウンドにさらにリアルな効果をもたらします。

グローバル・エディット

グローバル・エディットを有効にするには、エディットボタンを長押ししてください。プログラムが選択されているかどうかに関わらず、インストゥルメントに影響を与える機能を備えた（画面右上に表示される）様々なページが表示されます。この機能を終了するには、もう一度エディットボタンを押すと、すべての設定が自動的に記憶されます。

フォーカス（カーソル）がディスプレイの一番上にあるときにエンコーダーを回すと様々なページを選択することができます。カーソルをクリックすると、フォーカスがパラメーター上を移動し、エンコーダーを回して値を調整することができます。

グローバルエディットの主な機能は以下の通り：

TRANSPOSER



トランスポーザー：インストゥルメントを他のキーにトランスポートすることができます。エンコーダーをクリックして値の上にカーソルを移動させ、エンコーダーを回して希望の値に調整してください。

GLOBAL TUNER



グローバル・チューナー：基準（A=440 Hz）に合わせなければならないその他の楽器とチューニングを合わせるために使用することができます。

VELOCITY CURVE



ベロシティ・カーブ：テイストや演奏テクニックに応じて異なるベロシティ・カーブを選択することができます。3種類（SOFT/NORMAL/HARD）のファクトリー・カーブとプログラム可能な固定ベロシティ設定があります。

FIXED CURVE



固定カーブ：固定ベロシティが選択されているときは、ここで固定値（1～127）を設定することができます。

STRINGS RESONANCE (DAMPER EFFECT)



ストリングス・レゾナンス（ダンパー・エフェクト）：ストリングス・レゾナンスのプロセッシング量をコントロールし、すべてのアコースティックピアノ・サウンドによりリアルな効果を与えることができます。また、コンサートグランドのサウンドには、このパラメーターでコントロールされていないナチュラルなエフェクトで作成された“リリースとレゾナンス”があります。

HEADPHONES (MODE)



ヘッドフォン（モード）：このパラメーターが AUTO ON になっていると、ヘッドフォンを差し込むと自動的に内蔵アンプシステムがオフになります。

オートオフに設定されている場合、ジャックにヘッドフォンが接続されているときも内蔵アンプシステムはアクティブなままです。これによりヘッドフォン出力を補助出力として使用できるので、レコーディングに使用したり、内蔵スピーカーに加えて追加のサブウーファーを接続することができます。

PEDAL 2



ペダル 2 設定：Ped1 は常にエクスプレッション・ボリュームのペダルに使用しますが、Ped2 は次のように、ほぼすべてのペダルを接続するようにプログラムすることができます。

- シングルスイッチ：通常はオープン
- シングルスイッチ：通常はクローズ
- エクスプレッション（ボリューム機能、ステレオプラグ付きのペダル）
- SLP3-D：ソフト / ソステヌート / サスティン機能付ハーフダンパー・コントロールのトリプルペダル

FX AUTOSET



FX オートセット：オートオンに設定されていると、以下のオート機能が有効になります。

各サウンドで最後に選択されたエフェクト（FX1、2）は、インストゥルメントに記憶され、プログラムにコンビネーションを保存する必要なくサウンドと関連する好みのエフェクトを選択することができます。FX オートセットは、各サウンドのユーザーが選択したエフェクトだけでなく、各エフェクトの Stick 2 でコントロールするパラメーターの値も記憶して呼び出すことが可能です。

Stick 2 コントロールは、フォーカス / カーソルの設定、位置によって自動的に機能をアサインします。

フォーカスが（例として）アッパーでロータリーエフェクトでオルガンのサウンドを選択した場合、Stick 2 はロータリーのスロー / ファースト・スピードをコントロールします。

ロウワー（エンコーダーをクリックするか、ロウワーボタンを押す）でフォーカスを移動し、ロウワーに別の FX がある場合、Stick 2 は、ロウワー・エフェクトをコントロールします。

セクション（アッパー / ロウワー）に FX が選択されておらず、その上にフォーカスを移動させると、Stick 2 によって選択したセクションのモジュレーションをコントロールすることができます。

典型的な例として、エフェクトなしで、ロウワーにロータリーとベース、アッパーにオルガンが設定されているとします。カーソルをアッパーに動かし、Stick 2 を動かすとロータリー・スピードをコントロールし、ロウワーにフォーカスを置くとモジュレーションをコントロールします。

注：このオート機能は、インストゥルメントで行われる演奏状況の統計に基づく選択です。すべてのパラメーターを直接的に、手動でコントロールしたい場合は、その機能をオフにし、関連したパートエディットで Stick 2 の機能を選択することができます。望ましいセッティングをプログラムに保存してください。

J

SLIDER MODE - DIRECT/SNAP



スライダーモード：9 つのスライダー（オルガンモードでのドロージャー）は、好みや演奏ニーズに応じて、関連するグローバルエディット・ページで 2 種類の操作方法を選択できます。

ダイレクトモードを選択すると、スライダー／ドロージャーを動かすと、物理的な位置に対応する新しい値が即座に読み込まれ、サウンド生成に送られます。これにより、シンセパラメーターと MIDI アサイン可能な値を、ドロージャーオルガンモードでは 0~8 までの値を、スライダーモードでは 1~127 までの値を瞬時に入力できます。

スナップモードを選択し、スライダー／ドロージャーを移動すると、新しい位置が元の保存された値に一致した後に新しい値が読み込まれ、更新されます。例として、音のカットオフ値が 100 だった場合、元の 100 の位置に到達した後にのみスライダーは新しい値を入力します。

CLICK KEY ON / CLICK KEY OFF



キークリック：キークリックは、トーンホイールのビンテージオルガン・サウンドの一部となった典型的なノイズを追加します。キーオン／キーオフコントロールでは、好みに応じてレベルを設定することができます。このグローバルエディット機能は、キーオンとキーオフのクリックレベルを個別にコントロールすることができ、打鍵時、離鍵時の好みの効果を設定することができます。

FAST/SLOW PERCUSSION VOLUME



パーカッションボリューム：このグローバル機能では、パーカッションボリュームをコントロールできます。オリジナルのトーンホイールオルガンには、パーカッションボリュームのダイレクトパネル・コントロールがありましたが、ソフトまたはノーマルの 2 つのステップで構成されていました。このグローバルパラメーターでは、ファストとスローのディケイに独立して関連付けられた 64 の値でパーカッションレベルを連続的にコントロールします。

SYSEX FILTER



SYSEX フィルター：ソースの MIDI を、選択した接続先にマージするときに、いくつかの MIDI メッセージ（標準のもの以外）をフィルタリング（除外）します。

PROGRAMS SEND / RECEIVE



プログラムの送受信：すべてのプログラムをコンピュータ(PC/Mac)との間で送受信が可能です。機能を選択した後にエンコーダを回して以下の手順で送信、または受信を選択してください。

Windows

MIDI-OX のようなプログラムを使用することができます(コンピュータの USB/MIDI ポートと MIDI-OX セッティングによって Numa Compact 2x が認識されているようにしてください)。

コンピュータにデータを送信するには：

- Numa Compact 2x とコンピュータを USB 経由で接続してください。
- Open MIDI-OX を起動し、View/Sysex を選択してください。
- Sysex ウィンドウで、Sysex > Receive manual dump を選択してください。
- グローバルファクションの SEND がアクティブな時にエンコーダをクリックし、“YES” を選択、確定させて終了を待ってください。
- MIDI-OX ディスプレイ・ウィンドウのバルクデータをファイルに保存してください。
ダンプが終了したら Display Window > Save as... を選択し、好きな名称を付け保存してください。

データを Numa Compact 2x に送るには：

- “PROGRAMS SEND/RECEIVE” ウィンドウで “RECEIVE” を選択してください。
- MIDI-OX を起動し、Sysex ウィンドウで Command > Window > Load File を選択し、ファイルを保存した場所を探してください。
- Command Window > Send Sysex を選択し、完了するのを待ちください。

Mac OS

SysEx Librarian のようなプログラムを使用することができます (Numa Compact 2x がコンピュータの USB/MIDI ポートと SysEx Librarian に正しく認識されるようにしてください)。

コンピュータにデータを送信するには：

- SysEx Librarian を起動する。
- ツールバーで、デバイスとして “Numa Compact 2x” を選択してください。
- SysEx Librarian の “Record many” ボタンをクリックしてください。
- グローバルファクションの SEND がアクティブな時にエンコーダをクリックし、“YES” を選択、確定させて終了を待ってください。
- 送信が完了したら SysEx Librarian の “Done” ボタンを押してください。
- ダンプが終了したら Display Window > Save as... を選択し、好きな名称を付け保存してください。

データを Numa Compact 2x に送るには：

- “PROGRAMS SEND/RECEIVE” ウィンドウで “RECEIVE” を選択してください。
- SysEx Librarian のツールバーには “Destination” という名称のポップアップメニューがあります。それをクリックし、送信する MIDI ポートを選択してください。
- SysEx ファイルのリストから適切なファイルを選択し、“Play” ボタンを押して転送を開始してください。

FACTORY RESET



ファクトリーリセット：すべてのユーザー・セッティングを無効にし、すべてをパラメーターを工場出荷時の値にリセットすることができます。この操作により、カスタム・セッティングやプログラミングが失われるので、操作は慎重に行ってください。誤ってリセットしないよう、デバイスをリセットする前に“YES/NO”メッセージが表示され、工場出荷時へリセットする意志の再確認を行ないます。

FIRMWARE VERSION AND UPDATE



ファームウェアの確認とアップデート：ファームウェアを更新するには、以下の手順を行ってください。

- www.studiologic-music.com からファームウェアをダウンロードし、任意のフォルダに保存してください。
- インストゥルメントを電源に接続し、USB ケーブルを使用してコンピュータに接続してください。
- コンピュータに認識され、MIDI 出力デバイスとして選択されていることを確認してください。
- **A0**（左の最初の白い鍵盤）と **D1**（左から 4 番目の白い鍵盤）を押したまま電源を入れてください。ディスプレイに“Firmware Upload”というメッセージが表示されます。
- MIDI ファイルを再生可能なプログラム（PC 用の MIDI-OX や Mac 用の QMidi 等）を開いてください。

ファームウェア更新手順についてのより詳しい方法につきましては、弊社サポートまでお問い合わせください。

■ Dirigent カスタマーサポート：

電話番号：03-6264-7818（受付時間：平日 10:30～17:00）

休業日：土日祝日および弊社特別休業日

Dirigent サポートサイト：<https://dirigent.jp/support/>

電話でお問い合わせの際は、Dirigent へのご登録確認のため、お名前・製品名・製品シリアルナンバーをお伺いいたします。また、メールでのお問い合わせは、Dirigent サポートサイトのお問い合わせフォームをご利用ください。

プログラム・エディット

フォーカス（カーソル）がディスプレイ内のプログラム・セレクション上部にある場合、エディット・ボタンを押すと以下のパラメーターと設定のエディットが可能になります。



PROGRAM NAME

PROGRAM EDIT [1/3]



プログラム名：この機能を選択した後、エンコーダーをクリックし、回転させている番号の文字を入力してください。小さな三角がエディット中の桁を示します。

新しい名称を確認したり前の値をキープするには“STORE”を押してください。ポップアップ・ウィンドウによって変更の確認を促されるので、エンコーダーを使用し“YES”、または“NO”を選択し、クリックしてください。

SPLIT POINT

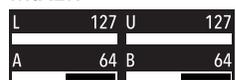
PROGRAM EDIT [2/3]



スプリットポイント：この機能では、各プログラムのスプリットポイントを設定するためにエンコーダーで希望のノートを選択することができます。国際規格に従い、キーボードの名称は **A0**（一番左側の鍵盤）から **C8**（一番右の鍵盤）になり、ディスプレイ下の中央の C は **C4** です。A=440 Hz の基準ピッチは **A4** で、ピアノの基準の 8' を基準にしたすべてのサウンドの **C4** と同じオクターブの A（サウンドバンクの下）です。ビンテージトーンホイール・オルガンの 16' ピッチのドローパーやパイプオルガンをベースにしている場合、一部のオルガンだけが 1 オクターブ下で再生されます。これらの場合、**A4** 上の選択された音の基準は 220 Hz（1 オクターブ 440 Hz 以下）になります。

MIXER

MIXER



ミキサー：ミキサーを使用すると、4つのパーツとゾーン（ロウワー / アッパー / ゾーン A / ゾーン B）を一度に1つのオーガナイズ・ページでコントロール可能です。この機能には、ショートカットを使用してアクセスすることもできます。MIXER マークと SPLIT ボタンを押したままにしてください。

J

パート・エディット

1つのパートにフォーカスされており、サウンドモードになっている（サウンド・ボタンが選択され、点灯している）場合は、パートエディット・モードに入ります。パートエディットを選択した場合、ロウワー、アッパー・ボタンを押してエディットするパートを選択するか、エンコーダーをクリックしてください。



パートエディットには以下のパラメーターが含まれています：

VOLUME	
PART EDIT [1/11]	
VOLUME 127	VOLUME 127

ボリューム：エンコーダーを回し、パラメーターをクリックしてフォーカスを移動させ、選択したパートのボリュームを0～127の間でコントロールすることができます。

SPLIT ASSIGN	
PART EDIT [2/11]	
SPLIT ASSIGN TO LEFT	SPLIT ASSIGN TO RIGHT

スプリットの割当：現在のプログラム（プログラムエディット）のスプリットポイントを選択すると選択したロウワー・セクション、またはアッパー・セクション（サウンドとMIDIゾーンのいずれか）を完全に独立した方法で演奏するかを決定することが可能です。

- TO LEFT：パートは鍵盤の左のセクション（A0～スプリットしたノートまで）を演奏します。
- TO RIGHT：パートは鍵盤の右のセクション（スプリットしたノートからC8まで）を演奏します。
- TO ALL：パートは、鍵盤上をスプリットすることなく演奏します。

この機能は、以下のいくつかの例やその反対の設定など多くの音楽的な組み合わせが可能です：

- スプリットポイントの左がベース + 右がピアノ
- 左がMIDIゾーン（外部デバイスをコントロール） + 右がピアノとストリングス
- オルガン全体（TO ALL）とCHOIRを右側部分にのみ

1か所のスプリットポイント（各プログラムごとにプログラム可能）であっても、ロウワー、アッパー、ゾーンA、ゾーンBの組み合わせによって生み出すことができるスプリットセッティングの可能性は約100通りになります。

TRANSCOPE

PART EDIT [3/11]

TRANSCOPE	TRANSCOPE
0	0

トランスポーズ：この機能では、パートを移調することができます。グローバル・トランスポーズと違い、サウンド・セクション、MIDI ゾーンごとに独立して設定することができ、各プログラムに異なる値を保存することができます。この面白い組み合わせは、音のインターバルを-5 半音のような一定のインターバルを持つ“クラスター”として知られるものを得るために音程を移調することができます。アップパーでトランペットと、ロウワーでサクスを選択し、サクスを5 半音下げ等の一般的なジャズセッティングをお試しください。

OCTAVE

PART EDIT [4/11]

OCTAVE	OCTAVE
0	0

オクターブ：パートごとに別々のオクターブを設定することができます。コードをより広いレンジで演奏するには、ロウワーパートを1～2 オクターブ上にトランスポーズする必要があります。逆に、スプリットがアクティブな時にアップパーを1～2 オクターブ下げることでより良いサウンドが得られる場合もあります。左側のスプリットされたベースと組み合わせてテナーサクスを選択した場合、テナーサクスのより低くより良いサウンドがスプリットポイントよりも左側にある可能性があるのがこの理由です。お好みの設定を試し、使用中のプログラムに保存してください。

FINE TUNING

PART EDIT [5/11]

FINE TUNE	FINE TUNE
0	0

チューニング微調整：このパラメーターでは、半音までの範囲内で、アップパーとロウワーのチューニングを微調整することができます。純粋な波形（ノコギリ波、矩形波など）を両方のセクションに割り当てたり、オーケストラの2 つのセクションのミックスを強化してよりリッチなサウンドにしたりする場合など、微妙にデチューンされた音を作成する場合に便利です。

REV SEND

PART EDIT [6/11]

REV SEND	REV SEND
64	64

リバーブ・センド：ロウワーパートとアップパーパートに独立してリバーブへの送り量（センド）をコントロールし、各プログラムごとに異なる設定をプログラムすることが可能です。典型的な設定として、鍵盤をスプリットし、左にベースをアサインした場合にリバーブ量を減らす。または最小にし、アップパーの設定をコントロールして目的のエフェクトを得ることが可能です。フロントパネルのミックス・ノブは、リバーブ・タイプを選択し、船体のリバーブミックス（ドライ / ウェット）を調整したり、値を送信したりすることができます。

PEDAL 1 - PEDAL 2

PART EDIT [7/11]

PEDAL 1	PEDAL 1
ON	ON

ペダル 1 - ペダル 2：セクションごとにペダルを有効にするかどうかを決定します（MIDI ボタンがオンの場合は、アップパー / ロウワー、またはゾーン A / ゾーン B）。

J

STICK 1 - STICK 2

PART EDIT [9/11]



スティック 1 - スティック 2:ペダルまたスティックに関しては、パートとゾーンに対し、別々に有効にすることができます。関連する FX オートセット機能がグローバルエディットでオンに設定されていると Stick 2 は、自動的にオートに設定されます。Stick 2 のアサインをマニュアルでコントロールするには、FX オートセットをオフに設定し、機能のオン / オフを切り替えてプログラムに保存することができます。

AFTERTOUCH

PART EDIT [11/11]



アフタータッチ:選択したパートやゾーンのアフタータッチ機能の有効 / 無効を切り替えます。アフタータッチの機能はほとんどの場合で、Stick 2 のモジュレーション・コントロールと同じですが、ビブラートやその類いのモジュレーションをサウンドに加えるために設定することができます。通常は、メインパートやソロ演奏で使用するアッパーのアフタータッチをオンにします。スプリットが有効な場合、ロウワーは伴奏やベースラインに使用されていることが多いです。

MIDI

Numa Compact 2x には 2 系統の独立したソフトウェア MIDI ポートがあり、キーボードとコントローラーポート (ポート 2 とポート 2) という名前の USB ケーブルを使って楽器をコンピューターに接続することができます。

キーボードポートは、内蔵のサウンド、エフェクト、プログラムに関連するすべての MIDI コントロールを送受信するようにプログラムされています。楽器のすべての機能をコントロールすることができ、キーボードの演奏から、2 つのローカルセクション (アッパーとロウワー) や、その他 MIDI 経由で演奏できる 2 つのセクション (パート 3 とパート 4) の音色の選択を行うことができます。MIDI を使用すると、パート 3 とパート 3 の音色とリバーレベル (内部のエフェクトには送信できません) を設定して、合計で 4 パートの MIDI シーケンスを作成することもできます。

MIDI CH3 と 4 でドラム&ベース・グループを演奏して、アッパーまたはロウワーにライブパートを録音して、4 種類のアレンジを作成することができます。

4 つのキーボードパート (このマニュアルの末尾にある MIDI インプリメンテーション・チャートに要約されています) には、それぞれ次のような MIDI 構造に対応した別々の MIDI チャンネルがあります。

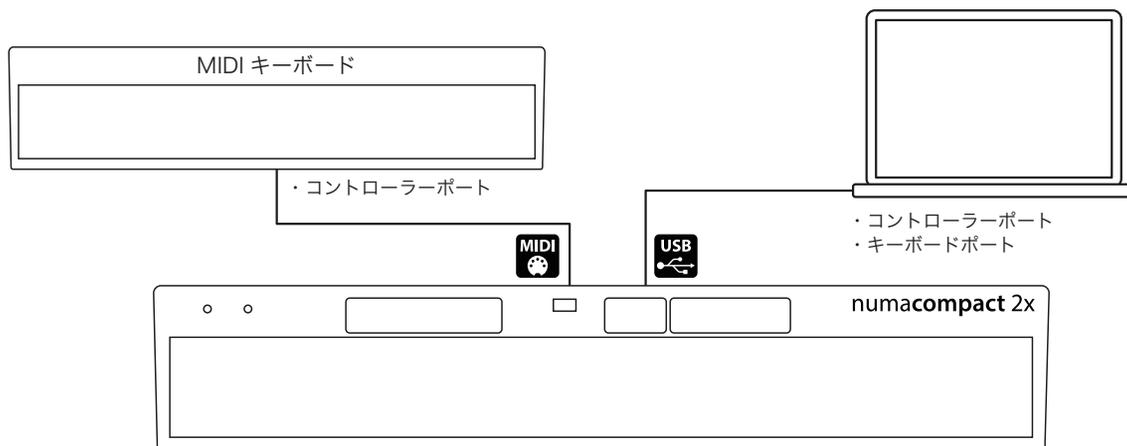
キーボード MIDI ポート

アッパー = MIDI Ch1 (送信と受信)

ロウワー = MIDI Ch2 (送信と受信)

パート 3 : MIDI Ch3 (受信のみ)

パート 4 : MIDI Ch4 (受信のみ)



すべてのリアルタイムパネルコントロール (オルガンドローバーとシンセスライダー、サウンド、エフェクトの選択、関連する量と設定など) は MIDI インプリメンテーション・チャートに記載されているように送受信されます。最後の 4 つのノブはローカル設定 (ボリューム、マスタリング、低音&高音) のためのもので、MIDI 経由では送受信されません。

言い換えれば、Numa Compact 2x でやりとりしている内容を MIDI 経由で送信、録音、受信することができ、すべての機能を完全にコントロールすることができます。

2 つ目の別の MIDI ポートはコントローラーセクション (ゾーン A とゾーン B) に割り当てられており、この別のポートを介して、MIDI ゾーンと関連する設定、コントロール、スティック機能 (ピッチとモジュレーション、アフタータッチなど) に関連するすべての MIDI コントロールを送信できます。

このポート 2 は MIDI 機能に関連しており、MIDI コントロールの必要がなく、また MIDI IN として実装されていないため、インプリメンテーションには送信 MIDI メッセージのみが含まれています。

当然のことながら、このダブル・キーボード/コントローラーポート構造は、コンピュータに MIDI USB 接続が行われたときに使用されます。

グローバルエディットのパラメーターで説明したように、COMMON MIDI チャンネルは、インストゥルメントのすべての MIDI データ（音符など）をメインのインストゥルメントのセクションに送り、ローカルのキーボードで演奏するように（スプリットまたはレイヤー、関連するキーレンジなどの）メインプログラムを変更して、アッパーとロウワーパートを演奏することができます。

Numa Compact 2x を（USB ではなく）物理 MIDI ケーブルを MIDI OUT ソケットに接続すると、コントローラーメッセージのみを送信します。

プログラム・エディット

関連する章で説明したプログラム・エディットは、サウンドと MIDI に共通しています。それは、サウンド・セクションと MIDI セクションの両方に関連する一般的なパラメータについて説明しています。以下のゾーンエディットの章では、選択に応じて特定の MIDI ゾーンのパラメーターを設定し、インターナル・サウンドについて設定されている他のすべてのパラメーターと同じ名称と番号で同じプログラムにそれらを保存することができます。

ゾーンエディット

フォーカス（カーソル）がゾーン内の 1 つにあり、MIDI モードになっている（MIDI ボタンが選択され、点灯している）場合、ゾーンエディット・モードに入ります。ゾーンエディットを選択している場合、ゾーン A、またはゾーン B ボタンを押してエディットするゾーンを選択するか、エンコーダーをクリックして他のインストゥルメントの機能と同じようにフォーカス（カーソル）を移動させてください。



ゾーンエディットには、以下のパラメーターがあります。

PROGRAM CHANGE

ZONE EDIT [1/16]

PRG CHG	PRG CHG
0	0

プログラム・チェンジ: 接続しているデバイス、VST、サウンドジェネレーターの特定のサウンドマップを参照し、コントロールされるデバイスやサウンドジェネレーターのパラメーターを入力します。値の範囲は 1 ~ 127 です。

LSB - MSB

ZONE EDIT [2/16]

BANK LSB	BANK LSB
0	0

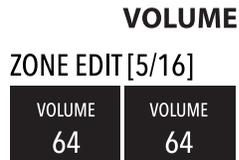
LSB - MSB : LSB は最下位バイトを表し、MSB は最上位バイトを表します。MIDI 規格で定義されている標準の 127 個のプログラムチェンジやより多くのバンクをコントロールすることができます。正しい番号を入力するには、コントロールするための MIDI データが記載されている MIDI インプリメンテーション・チャートを参照する必要があります。

MIDI CHANNEL

ZONE EDIT [4/16]

MIDI CH	MIDI CH
2	1

MIDI チャンネル: 各ゾーンの MIDI チャンネル(値 1 ~ 16)を選択し、2 つの異なる外部デバイスやサウンドジェネレーターをコントロールすることができます。



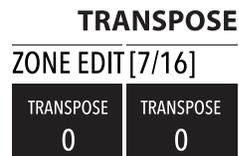
ボリューム：エンコーダーを回し、パラメーターをクリックしてフォーカスを移動させ、選択したパートのボリュームを 0 ～ 127 の間でコントロールすることができます。ゾーンのボリュームは、エディットモードではなく、MIDI ボタンが点灯し、カーソルのフォーカスがゾーン内の 1 つにある時に直接コントロールすることができます。



スプリットの割当：現在のプログラム（プログラムエディット）のスプリットポイントを選択すると選択したロウワー・セクション、またはアッパー・セクション（サウンドと MIDI ゾーンのいずれか）を完全に独立した方法で演奏するかを決定することが可能です。

- TO LEFT：パートは鍵盤の左のセクション（A0～スプリットしたノートまで）を演奏します。
- TO RIGHT：パートは鍵盤の右のセクション（スプリットしたノートから C8 まで）を演奏します。
- TO ALL：パートは、鍵盤上をスプリットすることなく演奏します。

1 か所のスプリットポイント（各プログラムごとにプログラム可能）であっても、ロウワー、アッパー、ゾーン A、ゾーン B の組み合わせによって生み出すことができるスプリットセッティングの可能性は約 100 通りになります。



トランスポーズ：この機能では、パートを移調することができます。グローバル・トランスポーズと違い、サウンド・セクション、MIDI ゾーンごとに独立して設定することができ、各プログラムに異なる値を保存することができます。



オクターブ：パートごとに別々のオクターブを設定することができます。コードをより広いレンジで演奏するには、ロウワーパートを 1 ～ 2 オクターブ上にトランスポーズする必要があります。逆に、スプリットがアクティブな時にアッパーを 1 ～ 2 オクターブ下げることでより良いサウンドが得られる場合もあります。左側のスプリットされたベースと組み合わせてテナーサクスを選択した場合、テナーサクスのより低くより良いサウンドがスプリットポイントよりも左側にある可能性があるのがこの理由です。



ペダル 1 - ペダル 2：カーソルのフォーカスが設定されている場所（ゾーン A またはゾーン B）に応じて各ゾーンのペダルの有効 / 無効を個別に切替えることができます。



スティック 1 - スティック 2：ペダルまたスティックに関しては、パートとゾーンに対し、別々に有効にさせることができます。関連する FX オートセット機能がグローバルエディットでオンに設定されていると Stick 2 は、自動的にオートに設定されます。Stick 2 のアサインをマニュアルでコントロールするには、FX オートセットをオフに設定し、機能のオン / オフを切り替えてプログラムに保存することができます。

AFTERTOUCH

ZONE EDIT [13/16]



アフタータッチ：選択したゾーンのアフタータッチ機能の有効 / 無効を切り替えます。アフタータッチの機能はほとんどの場合で、Stick 2 のモジュレーション・コントロールと同じですが、ビブラートやその類いのモジュレーションをサウンドに加えるために設定することができます。通常は、メインゾーンやソロ演奏で使用するアッパーのアフタータッチをオンにします。スプリットが有効な場合、ロウワーは伴奏やベースラインに使用されていることが多いためです。

スライダープログラミング

スライダープログラミング専用ページの 1 つを選択し、スライダーの 1 つを動かすと、そのスライダーに対して選択した編集が自動的に有効になります。各スライダーの手順を繰り返すことで、さまざまな機能や設定のための完全なスライダープログラミングを行うことができます。

すべてのスライダー設定は、ストア機能と同じ手順で、任意のプログラムに記憶できます。

CC SLIDER

ZONE EDIT [14/16]



CC スライダー：このページでは、9 つのスライダーの各 CC の機能を選択することができます。関連する CC が標準で一般的に定義されていない場合は、数値のみが使用されますが、それ以外の場合は、番号に加えて定義されている機能の名前が、cc 64 = ダンパーなどのように表示されます。

MIN SLIDER

ZONE EDIT [15/16]



MIN スライダー：この機能を選択すると、スライダーが最も低い位置に移動したときに送信される MIDI 値を、スライダーごとに設定できます（この機能は CC スライダーページでプログラムされています）。

MAX SLIDER

ZONE EDIT [16/16]



MAX スライダー：この機能を選択すると、スライダーが最も高い位置に移動したときに送信される MIDI 値を、スライダーごとに設定できます。

MIN スライダーと MAX スライダーの値は、選択された機能の合計範囲とプログラムされたコントロールの方向を決定します。

J

MIN スライダーを高い値(例えば 127)に設定し、MAX スライダーを低い値(例えば 0)に設定すると、結果は MAX(上の位置) から MIN(下の位置) まで逆のコントロールを行うことができます。これは、コンピュータの一部のオルガン VST インストゥルメントのドローバー設定をコントロールするときに有効です。

これらの設定では、MIDI スライダーのオルガンまたはシンセサウンドと同様の機能を作成できます。ドローバーとスライダーは、関連する MIN/MAX の異なる位置で、選択したサウンドに自動的に関連付けられます。ドローバーのボリュームを上げるには、選択したスライダーの機能が上の位置に移動すると増加する設定であっても、スライダーを引き出します。

Warranty

保証について

すべての Fatar 社 Studiologic の製品は、細心の注意を払って製造、測定、動作テストを行っています。これにより、2年の保証期間を設けています。サポートを受けるために、お客様の Numa Compact 2x のご登録をお願いいたします。不適切な運搬、設置、取扱いが原因による故障につきましては、保証の対象外とさせていただきますのでご注意ください。

これらは、伊 FATAR 社ならびに代理店が定める一般的条件に基づいています。機器の価格を上回る補償は、除外されますのでご了承ください。

CE-Conformity



FATAR srl
Zona Ind.le Squartabue
62019 Recanati MC Italy

FATAR 社は、この製品がヨーロッパの基準に従って製造された製品であることを宣言いたします。

- 2004/108//EC EMC 司令
- DIN EN 55013 音声及びテレビ放送受信機並びに関連機器における EMC radio disturbance
- DIN EN 55020 音声及びテレビ放送受信機並びに関連機器における EMC immunity

承認なく機器を改造された場合、この宣言は無効となります。

RoHS-Conformity



この製品は、2002/95/EC の基準に沿って製造されています。

Disposal / WEEE



EG 指令 2003/108/EG の第一の目的は、電気と電子機器 (WEEE) の浪費の防止です。それに加えて再利用、リサイクル、回収により廃棄物の削減を目標としています。環境保全のためにご協力をお願いいたします。

State of the art

最良の品質を保証するために、Fatar 社製全ての Studiologic 製品は、最新の技術で設計されています。告知なく、アップデート、仕様の変更、改良等を行うことがございます。技術仕様ならびに製品の外観は本マニュアルと異なる場合がございますので、ご了承ください。

Trademarks

本マニュアルの全ての商標はそれぞれの所有者に帰属します。

Copyright

本マニュアルの一部もしくは全部を、著作権利権者の許可なく、いかなる形式において複製、転送することを禁止いたします。

FATAR Srl
Zona Ind.le Squartabue
62019 Recanati, Italy

MIDIインプリメンテーション・チャート - コントローラー・セクション

Studiologic Numa Compact 2x, Version 1.00			
Basic information	Transmit/Export	Recognized/Import	Remarks
MIDI channels	1 - 16		
Note numbers	0 - 127		
Program change	0 - 127		
Bank select	yes	no	
Note-On velocity	yes	no	
Note-Off velocity	yes	no	
Channel Aftertouch	yes	no	
Poly (key) Aftertouch	no	no	
Active Sensing	no	no	
System reset	no	no	
Tune request	no	no	
Pitch Bend	yes	no	
Universal System Exclusive: Sample Dump Standard, Device Inquiry, File Dump, MIDI Tuning ,Master Volume, Master Balance, Notation Informati- on, Turn GM1 System On, Turn GM2 System On, Turn GM System Off, DLS-1, File Reference, Controller Destination, Key-based Instrument Ctrl, Master Fine/ Coarse Tune, Othe Universal System Exclusive	yes	no	F0, 41, 00, 42, 12, 40, 00, 00, 00, xx, xx, xx, 00, F7
Manufacturer or Non-Commercial System Exclusive	yes	yes	*See proper Sysex List Chart
NRPNS	no	no	
RPN 00 (Pitch Bend Sensitivity) RPN 01 (Channel Fine Tune) RPN 02 (Channel Coarse Tune) RPN 03 (Tuning Program Select) RPN 04 (Tuning Bank Select) RPN 05 (Modulation Depth Range)	no	no	
MIDI Tuning and Synchronization	Transmit/Export	Recognized/Import	Remarks
MIDI Clock	no	no	
Song Position Pointer	no	no	
Song Select	no	no	
Start - Continue - Stop	no	no	
MIDI Time code	no	no	
MIDI Machine Control	no	no	
MIDI Show control	no	no	
Extension Compatibility	Transmitted	Recognized	Remarks
General MIDI Compatible	no	no	
DLS compatible	no	no	
Standard MIDI Files	no	no	
XMF Files	no	no	
SL-MIDI compatible	no	no	

MIDI CC		Transmitted	Recognized	Remarks
0	Bank Select (MSB)	yes	no	
1	Modulation Wheel (MSB)	yes	no	
2	Breath Controller	yes	no	
3		yes	no	
4	Foot Controller (MSB)	yes	no	
5	Portamento Time (MSB)	yes	no	
6	Data Entry (MSB)	yes	no	
7	Channel Volume (MSB)	yes	no	
8	Balance (MSB)	yes	no	
9		yes	no	
10	Pan (MSB)	yes	no	
11	Expression (MSB)	yes	no	
12	Effect Control 1 (MSB)	yes	no	
13	Effect Control 2 (MSB)	yes	no	
14		yes	no	
15		yes	no	
16	General Purpose Controller 1 (MSB)	yes	no	
17	General Purpose Controller 2 (MSB)	yes	no	
18	General Purpose Controller 3 (MSB)	yes	no	
19	General Purpose Controller 4 (MSB)	yes	no	
20		yes	no	
21		yes	no	
22		yes	no	
23		yes	no	
24		yes	no	
25		yes	no	
26		yes	no	
27		yes	no	
28		yes	no	
29		yes	no	
30		yes	no	
31		yes	no	
32	Bank Select (LSB)	yes	no	
33	Modulation Wheel (LSB)	yes	no	
34	Breath Controller (LSB)	yes	no	
35		yes	no	
36	Foot Controller (LSB)	yes	no	
37	Portamento Time (LSB)	yes	no	
38	Data Entry (LSB)	yes	no	
39	Channel Volume (LSB)	yes	no	
40	Balance (LSB)	yes	no	
41		yes	no	
42	Pan (LSB)	yes	no	
43	Expression (LSB)	yes	no	
44	Effect Control 1 (LSB)	yes	no	
45	Effect Control 2 (LSB)	yes	no	

46		yes	no	
47		yes	no	
48	General Purpose Controller 1 (LSB)	yes	no	
49	General Purpose Controller 2 (LSB)	yes	no	
50	General Purpose Controller 3 (LSB)	yes	no	
51	General Purpose Controller 4 (LSB)	yes	no	
52		yes	no	
53		yes	no	
54		yes	no	
55		yes	no	
56		yes	no	
57		yes	no	
58		yes	no	
59		yes	no	
60		yes	no	
61		yes	no	
62		yes	no	
63		yes	no	
64	Sustain Pedal	yes	no	
65	Portamento On/Off	yes	no	
66	Sostenuto	yes	no	
67	Soft Pedal	yes	no	
68	Legato Footswitch	yes	no	
69	Hold 2	yes	no	
70	Sound Controller 1 (default: Sound Variation)	yes	no	
71	Sound Controller 2 (default: Timber/Harmonic Quality)	yes	no	
72	Sound Controller 3 (default: Release Time)	yes	no	
73	Sound Controller 4 (default: Attach Time)	yes	no	
74	Sound Controller 5 (default: Brightness)	yes	no	
75	Sound Controller 6 (GM2 default: Decay Time)	yes	no	
76	Sound Controller 7 (GM2 default: Vibrato Time)	yes	no	
77	Sound Controller 8 (GM2 default: Vibrato Depth)	yes	no	
78	Sound Controller 9 (GM2 default: Vibrato Delay)	yes	no	
79	Sound Controller 10 (GM2 default: Undefined)	yes	no	
80	General Purpose Controller 5	yes	no	
81	General Purpose Controller 6	yes	no	
82	General Purpose Controller 7	yes	no	
83	General Purpose Controller 8	yes	no	
84	Portamento Control	yes	no	
85		yes	no	

86		yes	no	
97		yes	no	
88		yes	no	
89		yes	no	
90		yes	no	
91	Effect 1 Depth (default: Reverb Send)	yes	no	Ch 1,2: reverb send; Ch 16: reverb level
92	Effect 2 Depth (default: Tremolo Depth)	yes	no	Ch 1,2: FX1 level
93	Effect 3 Depth (default: Chorus Send)	yes	no	Ch 1,2: FX2 level
94	Effect 4 Depth (default: Celeste [Detune] Depth)	yes	no	
95	Effect 5 Depth (default: Phaser Depth)	yes	no	
96	Data Increment	yes	no	
97	Data Decrement	yes	no	
98	Not-registered Parameter No. (LSB)	yes	no	
99	Not-registered Parameter No. (MSB)	yes	no	
100	Registered Parameter No. (LSB)	yes	no	
101	Registered Parameter No. (MSB)	yes	no	
102	FX1 Change	yes	no	0=bypass, 1=drive, 2=chorus, ...
103	FX2 Change	yes	no	0=bypass, 1=rotary, 2=tremolo, ..
104	Reverb Change	yes	no	0=bypass, 1=room, 2=hall, 3=plate, 4=spring
105		yes	no	
106		yes	no	
107		yes	no	
108		yes	no	
109		yes	no	
110		yes	no	
111		yes	no	
112		yes	no	
113		yes	no	
114		yes	no	
115		yes	no	
116		yes	no	
117		yes	no	
118		yes	no	
119		yes	no	
120	All Sound Off	yes	no	
121	Reset All Controllers	yes	no	
122	Local Control On/Off	yes	no	
123	All Notes Off	yes	no	
124	Omni Mode Off	yes	no	
125	Omni Mode On	yes	no	
126	Poly Mode Off	yes	no	
127	Poly Mode On	yes	no	

MIDIインプリメンテーション・チャート - キーボード・セクション

Studiologic Numa Compact 2x, Version 1.00			
Basic information	Transmit/Export	Recognized/Import	Remarks
MIDI channels	1,2,16	1,2,3,4,16	16 = common channel
Note numbers	0 - 127	0-127	
Program change	0 - 127	0-127	*See proper Sound List Chart NOTE: Patch change
Bank select	yes	yes	*See proper Sound List Chart
Note-On velocity	yes	yes	16 = common channel
Note-Off velocity	yes	yes	16 = common channel
Channel Aftertouch	yes	yes	
Poly (key) Aftertouch	no	no	
Pitch Bend	yes	yes	16 = common channel
Active Sensing	no	no	
System reset	no	no	
Tune request	no	no	
Pitch Bend	yes	no	
Universal System Exclusive: Sample Dump Standard, Device Inquiry, File Dump, MIDI Tuning ,Master Volume, Master Balance, Notation Informati- on, Turn GM1 System On, Turn GM2 System On, Turn GM System Off, DLS-1, File Reference, Controller Destination, Key-based Instrument Ctrl, Master Fine/ Coarse Tune, Othe Universal System Exclusive	yes	no	F0, 41, 00, 42, 12, 40, 00, 00, 00, xx, xx, xx, 00, F7
Manufacturer or Non-Commercial System Exclusive	yes	yes	*See proper Sysex List Chart
NRPNs	no	no	
RPN 00 (Pitch Bend Sensitivity) RPN 01 (Channel Fine Tune) RPN 02 (Channel Coarse Tune) RPN 03 (Tuning Program Select) RPN 04 (Tuning Bank Select) RPN 05 (Modulation Depth Range)	no	no	
MIDI Tuning and Synchronization	Transmit/Export	Recognized/Import	Remarks
MIDI Clock	no	no	
Song Position Pointer	no	no	
Song Select	no	no	
Start - Continue - Stop	no	no	
MIDI Time code	no	no	
MIDI Machine Control	no	no	
MIDI Show control	no	no	
Extension Compatibility	Transmitted	Recognized	Remarks
General MIDI Compatible	no	no	
DLS compatible	no	no	
Standard MIDI Files	no	no	
XMF Files	no	no	
SL-MIDI compatible	no	no	

MIDI CC		Transmitted	Recognized	Remarks
0	Bank Select (MSB)	yes	yes	Ch 1,2
1	Modulation Wheel (MSB)	yes	yes	* Stick2 = Sound
2	Breath Controller	no	no	
3		yes	no	
4	Foot Controller (MSB)	no	no	
5	Portamento Time (MSB)	no	no	
6	Data Entry (MSB)	no	no	
7	Channel Volume (MSB)	yes	no	
8	Balance (MSB)	no	yes	
9		yes	no	
10	Pan (MSB)	no	yes	
11	Expression (MSB)	yes	yes	16 = Common channel
12	Effect Control 1 (MSB)	yes	yes	Organ Model Drawbar #1
13	Effect Control 2 (MSB)	yes	yes	Organ Model Drawbar #2
14		yes	yes	Organ Model Drawbar #3
15		yes	yes	Organ Model Drawbar #4
16	General Purpose Controller 1 (MSB)	yes	yes	Organ Model Drawbar #5
17	General Purpose Controller 2 (MSB)	yes	yes	Organ Model Drawbar #6
18	General Purpose Controller 3 (MSB)	yes	yes	Organ Model Drawbar #7
19	General Purpose Controller 4 (MSB)	yes	yes	Organ Model Drawbar #8
20		yes	yes	Organ Model Drawbar #9
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
31				
32	Bank Select (LSB)	yes	yes	
33	Modulation Wheel (LSB)			
34	Breath Controller (LSB)			
35				
36	Foot Controller (LSB)			
37	Portamento Time (LSB)			
38	Data Entry (LSB)			
39	Channel Volume (LSB)			
40	Balance (LSB)			
41				
42	Pan (LSB)			
43	Expression (LSB)			
44	Effect Control 1 (LSB)			
45	Effect Control 2 (LSB)			

46				
47				
48	General Purpose Controller 1 (LSB)			
49	General Purpose Controller 2 (LSB)			
50	General Purpose Controller 3 (LSB)			
51	General Purpose Controller 4 (LSB)			
52				
53				
54				
55				
56				
57				
58				
59				
60				
61				
62				
63				
64	Sustain Pedal	yes	yes	
65	Portamento On/Off			
66	Sostenuto	yes	yes	
67	Soft Pedal	yes	yes	
68	Legato Footswitch			
69	Hold 2			
70	Sound Controller 1 (default: Sound Variation)			
71	Sound Controller 2 (default: Timber/Harmonic Quality)			Filter Resonance
72	Sound Controller 3 (default: Release Time)			EG Release
73	Sound Controller 4 (default: Attach Time)			EG Attack
74	Sound Controller 5 (default: Brightness)			Filter Cutoff
75	Sound Controller 6 (GM2 default: Decay Time)			EG2 Decay
76	Sound Controller 7 (GM2 default: Vibrato Time)			
77	Sound Controller 8 (GM2 default: Vibrato Depth)			
78	Sound Controller 9 (GM2 default: Vibrato Delay)			
79	Sound Controller 10 (GM2 default: Undefined)			
80	General Purpose Controller 5			
81	General Purpose Controller 6			
82	General Purpose Controller 7			
83	General Purpose Controller 8			
84	Portamento Control			
85				

86				
97				
88				
89				
90				
91	Effect 1 Depth (default: Reverb Send)	yes	yes	Ch 1,2: reverb send; Ch 16: reverb level
92	Effect 2 Depth (default: Tremolo Depth)	yes	yes	Ch 1,2: FX1 level
93	Effect 3 Depth (default: Chorus Send)	yes	yes	Ch 1,2: FX2 level
94	Effect 4 Depth (default: Celeste [Detune] Depth)	no		
95	Effect 5 Depth (default: Phaser Depth)	no		
96	Data Increment	no		
97	Data Decrement	no		
98	Not-registered Parameter No. (LSB)	no		
99	Not-registered Parameter No. (MSB)	no		
100	Registered Parameter No. (LSB)	no		
101	Registered Parameter No. (MSB)	no		
102	FX1 Change	yes (ch 1,2)	yes	0=bypass, 1=drive, 2=chorus, ...
103	FX2 Change	yes (ch 1,2)	yes	0=bypass, 1=rotary, 2=tremolo, ..
104	Reverb Change	yes (ch 16)	yes	0=bypass, 1=room, 2=hall, 3=plate, 4=spring
105		no		
106		no		
107		no		
108		no		
109		no		
110	FX1 Modwheel	yes*	yes	*Stick 2 = FX1
111	FX2 Modwheel	yes*	yes	*Stick 2 = FX2
112		no		
113		no		
114		no		
115		no		
116		no		
117		no		
118		no		
119		no		
120	All Sound Off	no		
121	Reset All Controllers	no	yes	
122	Local Control On/Off	no		
123	All Notes Off	no	yes	
124	Omni Mode Off	no		
125	Omni Mode On	no		
126	Poly Mode Off	no		
127	Poly Mode On	no		

サウンドリスト

Sound #	Sound Name	Family	Bank Select MSB	Program Change
1	Concert	APIANO	0	0
2	Stage	APIANO	1	0
3	Vintage	APIANO	2	0
4	Studio	APIANO	3	0
5	Rock	APIANO	0	1
6	Upright	APIANO	0	3
7	E-Grand1	APIANO	0	2
8	E-Grand2	APIANO	1	2
9	EP-Mark1	EPIANO	0	4
10	Wurlix	EPIANO	1	4
11	E-Pno1	EPIANO	0	5
12	E-Pno2	EPIANO	1	5
13	DxFm1	EPIANO	2	5
14	DxFm2	EPIANO	3	5
15	DxFm3	EPIANO	4	5
16	DxFm4	EPIANO	5	5
17	Clavi	KEYS	0	7
18	Harpsi	KEYS	0	6
19	Vibes	KEYS	0	11
20	Marimba	KEYS	0	12
21	FunKlav	KEYS	1	7
22	Cembalo	KEYS	1	6
23	ReedOrg	KEYS	0	20
24	GloKeys	KEYS	0	9
25	Ac-Bass	BASS_GUITAR	0	32
26	El-Bass	BASS_GUITAR	1	33
27	Slap	BASS_GUITAR	0	36
28	Plicked	BASS_GUITAR	0	34
29	Ny-Guitar	BASS_GUITAR	0	24
30	El-Guitar	BASS_GUITAR	0	27
31	Ac-Guitar	BASS_GUITAR	0	25
32	Jz-Guitar	BASS_GUITAR	0	26
33	2 Guitars	BASS_GUITAR	1	24
34	12 Strings	BASS_GUITAR	1	25
35	BassRide1	BASS_GUITAR	1	32
36	BassRide2	BASS_GUITAR	1	33
37	JazzOrg1	ORGAN	0	17
38	JazzOrg2	ORGAN	1	17
39	DrawbVib	ORGAN	0	16
40	AllDrawb	ORGAN	1	16
41	888-Pure	ORGAN	0	18
42	888-Scan	ORGAN	1	18
43	MildSet	ORGAN	2	16
44	PopSet	ORGAN	6	16
45	AllEven	ORGAN	3	16
46	VintSet	ORGAN	3	18
47	FullSwell	ORGAN	3	17
48	FullGreat	ORGAN	7	16
49	VintOrg1	ORGAN	4	16

50	VintOrg2	ORGAN	5	16
51	PipeOrg1	ORGAN	1	19
52	PipeOrg2	ORGAN	0	19
53	SynthPad	SYNTH	0	89
54	SynthHouse	SYNTH	1	7
55	SweetSaw	SYNTH	2	7
56	WowPad	SYNTH	0	95
57	Soloist	SYNTH	4	7
58	Funky	SYNTH	5	7
59	SynBass1	SYNTH	6	7
60	SynBass2	SYNTH	7	7
61	JumpSaw	SYNTH	0	81
62	SynBrass	SYNTH	9	7
63	SquareMix	SYNTH	0	80
64	Cluster	SYNTH	11	86
65	BigDance	SYNTH	0	96
66	Monster	SYNTH	0	97
67	FmVibe	SYNTH	0	98
68	SledgeMix	SYNTH	0	99
69	Sawtooth	SYNTH	1	81
70	Square	SYNTH	1	80
71	Triangle	SYNTH	1	89
72	Pulse	SYNTH	3	7
73	Strings1	ORCHESTRA	0	49
74	Strings2	ORCHESTRA	0	50
75	Horns	ORCHESTRA	0	60
76	Brass	ORCHESTRA	0	61
77	Baroque	ORCHESTRA	1	49
78	BigBand	ORCHESTRA	1	61
79	BrassFall	ORCHESTRA	2	61
80	SaxBand	ORCHESTRA	1	66
81	TenorSax	ORCHESTRA	0	66
82	JazzFlute	ORCHESTRA	0	73
83	Trumpet	ORCHESTRA	0	56
84	Oboe	ORCHESTRA	0	68
85	Cassotto	OTHER	0	23
86	Accordion	OTHER	0	21
87	Musette	OTHER	1	21
88	Harmonica	OTHER	0	22
89	ChoirAh	OTHER	0	52
90	Choir Oh	OTHER	0	53
91	ChoirUh	OTHER	1	53
92	ChoirSint	OTHER	0	54
93	Bouzouki	OTHER	1	104
94	Kanoun	OTHER	1	107
95	Oud	OTHER	1	105
96	Cawala	OTHER	1	75
97	Mizmar	OTHER	1	111
98	Nai	OTHER	1	72
99	StndKit	OTHER	14	5
100	WorldKit	OTHER	15	5

製品仕様

Studiologic Numa Compact 2x		
Keyboard	Number of Keys	88
	Type	Semi-weighted Action TP/9 PIANO with Aftertouch
	Velocity Curves	3 default velocity curves + fixed curve with programmable value
Display	Type	OLED
	Resolution	128 x 64 dots
User Interface	Encoder	Rotation + push
	Controls	7 potentiometer 23 buttons 2 sticks 9 Slider / Drawbars
	Pedals	Expression + universal
Connections	MIDI	In - Out
	USB	Midi In/Out, USB to HOST, power
Power Supply	DC IN	12V - 2,5A
	Adapter	Input:100-240V Output: 12V-2,5A
Weight		7,1 Kg / 15,6 lbs

サイズ



J

製品サポートについて

本書をご覧いただいても解決できない問題がございましたら、Dirigent カスタマーサポートまでご連絡ください。

なお、サポート・サービスをご利用いただくためには、Dirigent へのユーザー登録が必要です。登録の確認ができない場合、サポート・サービスをご利用いただくことができません。予めご了承ください。

■ Dirigent へのご登録方法：

Dirigent サポートページにアクセスし、Studiologic オンライン登録フォームよりご登録をお願いいたします。

■ Dirigent カスタマーサポート：

電話でお問い合わせの際は、Dirigent へのご登録確認のため、お名前・製品名・製品シリアルナンバーをお伺いいたします。また、メールでのお問い合わせは、Dirigent サポートサイトのお問い合わせフォームをご利用ください。

- 電話番号：03-6264-7818（受付時間：平日 10:30～17:00）
- 休業日：土日祝日および弊社特別休業日
- Dirigent サポートサイト：<https://dirigent.jp/support/>